

2019 Season



第1回



ゴール
ドッジ

大会報告書

2019年8月9日

日本ドッジビー協会

【開催要項】

主 催：日本ドッジビー協会 DBJA

主 管：千代田区ドッジビー協会 DBAC

日 程：2019年8月4日(日曜日)

場 所：千代田区立麴町中学校 体育館
千代田区平河町 2-5-1

東京メトロ線 永田町駅 5番出口より徒歩3分 赤坂見附駅より徒歩7分



協 賛：文化シャッター株式会社

ワタミ株式会社

東京キリンビバレッジサービス株式会社 その他数社

部門資格:年齢性別区別なし ・小学生は高学年(5年生)以上を推奨

表 彰：優勝 準優勝 敢闘賞(予選Aリーグ1位)

【競技方法】

全8チームが参加、下記の方法で対戦、全チームの順位を決定した。

<予選リーグ> 4チームの2リーグに分けて対戦

<トーナメント> 予選上位2チームをY、下位2チームをXとして
4チームがトーナメントにて対戦

<試合人数> 全試合 4人 vs 4人

<試合時間> 予選リーグ=5分の前・後半。ハーフタイムは90秒。引き分けあり勝点制

トーナメント=7分の前・後半。ハーフタイムは90秒。同点はPT戦

決勝戦のみ=12分の前・後半。ハーフタイムは120秒。同点は延長戦

【参加チーム一覧】

| | 人数 | 主構成 |
|------------------------|----|---------------|
| ●DCC(ドッジビー千代田クラブ) | 5 | 中学生 |
| ●YDK(荒川区) | 8 | 中学生 |
| ●M. D. C(武蔵野市ドッジビークラブ) | 8 | 中学生 |
| ●NDCロックス(西新井ドッジビークラブ) | 8 | 中学生 |
| ●TBMドッジビークラブ | 7 | 企業チーム |
| ●山葵 | 9 | 社会人アルティメットチーム |
| ●style | 5 | 社会人クラブチーム |
| ●NDCヤソップ(西新井ドッジビークラブ) | 8 | 地域クラブチーム |

◆チーム総合計 : 8チーム

◆参加選手総数 : 58名

◆観戦・引率保護者数 : 約30名

▲大会関係者総数 : 25名

内訳/チーム監督コーチ 10名

/主要スタッフ 15名

| | |
|-----------|---------|
| 大会関係者 総合計 | 約 110 名 |
|-----------|---------|

【参加賞】



【表彰副賞】



【講評】 遅い梅雨明け以来、猛暑日が続く夏休み期間中の8月4日、日曜日に千代田区立麴町中学校にて2019年度の第1回目となるゴールドツグトーナメントが開催されました。

この日も快晴、猛暑の中、恒例の会場には8チームが集まりましたが麴町中は体育館



にエアコンが完備されており、選手控室として使用させていただいている合同教室という名称の階段状教室も同様にエアコンがあり、選手の皆さんは快適に過ごすことができていると思いますが、もしもエアコンが無い別の会場だったら大会開催は危険性があるレベルの気温となっており、あらためて麴町中学校に心より感謝です。ありがとうございます。



8チームの内、4チームが概ね中学生を中心としたチーム、残り4チームが社会人によるクラブチーム、となったことから判り易く、かつ対戦組合せがおこない易い構成で予選リーグをそれらの二つに分けて、予選Aリーグ(中学生中心チーム)の1位を敢闘賞として表彰、最終成績の上位2チームを優勝と準優勝として表彰する旨、朝の開会式で発表しました。





タイムスケジュールにおいて当初想定よりも余裕を持った運営が可能となるチーム数のため、試合時間を進行するに従い、長めにスライドする方式を採用して実施しました。

予選リーグ→5分の前・後半。



トーナメント→7分の前・後半。



決勝戦のみ→12分の前・後半。



今回、試合の内容をデータ側面でお伝えしますと、予選最初のゲームでいきなり同点引分けとなり、全体的に混戦の展開になるかと思いきや、1日を通して同点ゲームはこの試合と、

トーナメントで1試合だけ、1点差ゲームは全体で4試合、

2点差ゲームは2試合あり、0～2点の僅少差ゲームは20試合中8試合となり、4割を占めました。今回初出場が3チームあったことを考えると全体的に締まった好ゲームであったと言えます。



一方、最大差は13vs0、

これは5分の前・後半の予選でのこととかなり、圧倒的でした。

3位決定戦、最終の決勝戦、ともに1点差での決着となり、

全体的に見てもワクワクするような楽しめる大会でした。



特に決勝戦は直近のDBJA主催、東海道大会と同一の style VS NDCヤソップの対戦になりました。

決勝戦のみ、試合時間が前・後半各12分の長丁場で両チームともにスタミナが不足してくるとシュートの精度が甘くなってターンオーバーを繰り返し、またスタミナが奪われる、といった展開が一時、見られましたが最終的には時間に比例した倍となる得点を上げるあたりはさすがの両チームでした。

結果として12-11の1点差でstyleが勝利。決勝戦に相応しい、見ごたえのある試合で終了のホイッスルと共に両チームに対する大きな拍手が自然に送られていたことがとても嬉しく、印象に残った素晴らしい決勝戦でした。

敢闘賞はNDCロックスが受賞。NDCチームの総合力には感服します。



最後に、今回、初参加が3チームありましたので次ページで簡単に紹介をして、大会の報告とさせていただきます。

今回も多くの関係者の皆さまのご協力をいただきまして無事、大会を終えることができましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。

<チーム紹介①>

●チーム名称 YDK ●活動拠点 荒川区

●以下、インタビュー

チーム名称の由来は➡やれば、できる、子、➡で Y、D、K
小学生時代にビクティニーズというチームでディスクドッチ
をはじめて以来、ドッチビーを楽しんでいる仲間です。

ディスクドッチはチームの人数が多く必要なので、なかなか難しいですがゴールドドッチは
少人数でできるのが良いし、走りまわることとペナルティスローがとても面白いです。

■DBJA より

ディスクドッチチームを経由した中学生が仲間でゴールドドッチの大会に出場する！

私たちが理想と考えているプロセスを経た、嬉しいチームです！！



<チーム紹介②>

●チーム名称 山葵(わさび)

●スローガン 相手をリスペクトし、プレーを楽しむ

●以下、インタビュー

マスターミックスのアルティメットチーム

<※SOTGで常に上位になるチーム>です！！

チーム名称の由来は ➡ おとなの「侘び」と「寂び」を見せる？

ドッチビーディスクは、長い距離やスピードのあるスローを投げること、とキャッチ、が難しい。
今日のメンバーの半分は初めてゴールドドッチを体験ながら・・・種目としてはとても面白いです。

※SOTG/Spirit Of The Game アルティメット独特の仕組み。簡単に言うと「フェアプレー賞」公式ルールでは
「各選手のフェアプレーに対する責任感」と定義されており、大会毎にポイント集計されて勝敗とは別のランキングがある。



<チーム紹介③>

●チーム名称 TBMドッチビークラブ

●部員数 12名

●設立 2019年4月

●以下、インタビュー

東武ビルマネジメント株式会社の社内部活動として、発起人

鈴木くんがフライングディスク経験者の上司を口説いて、この春に発足しました。

以来、まだ数か月、数回の練習しかできていないけど、初の参戦でした。

ディスクドッチの練習もしましたが、楽しさや人数の関係ではゴールドドッチを中心に考えます。

今日は思ったより、きつかったです。目標は点を取ることでしたので・・・

一応、達成ながらも、ホッとは勝ちたかった、です。

